

標準施工仕様

新築

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
素地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下・pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷・不陸・目違いなどは補修調整してください。							—
下 塗 り	水性ミラクシーラーエコ (クリアー・ホワイト)	既調合	0.10~0.13	1	—	2以上	—	ウールローラー
主材塗り	ベ ー ス プ ロ テ ク ト	100	0.7~1.0	2	2以上	—	24以上	SPローラー (マスチックローラー細目)
	清 水	5~8	—					

改装

(23℃)

工 程	材 料	調 合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備 考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●高圧水洗浄（10～15MPa）後は十分に乾燥させてください。 ●表面汚染のひどい部位は、SKクリーナースーパーにて事前に洗浄してください。 ●幅0.5mm以上のひび割れが認められる場合は、Vカット処理し、弾性パテ等で充填処理する等、適切な処理を行ってください。 ●エフロレッセンスの析出や流出が認められる場合や付着物が認められる場合は、ワイヤーブラシやサンドペーパー等により十分に除去してください。 ●浮きが認められる場合は、はつり除去後、ミラクフアンドKC-3000などで補修してください。							—
下 塗 り	水性ミラクシーラーエコ （クリアー・ホワイト）	既調合	0.10～0.15	1	—	2以上	—	ウールローラー
主材塗り	ベ ー ス プ ロ テ ク ト	100	0.7～1.0	2	2以上	—	24以上	SPローラー （マスチックローラー細目）
	清 水	5～8	—					

※下地が脆弱な場合は下塗材として★ミラクシーラーES(15kg石油缶)をご使用ください。

性能試験成績表

JIS A6909 建築用仕上塗材 外装薄塗材E による物性結果

項 目	結 果	品 質
低温安定性	合 格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	合 格	ひび割れがない。
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	1.1 0.5以上
	浸 水 後	1.3 0.3以上
温冷繰返し	合 格	試験体の表面に、ひび割れ、剥がれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性A法(mm)	0	10.0以下
耐洗浄性	合 格	剥がれ及び摩耗による基板の露出がない。
耐衝撃性	合 格	ひび割れ、著しい変形及び剥がれがない。
耐アルカリ性 A法	合 格	ひび割れ、剥がれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐候性A法	合 格	ひび割れ及び剥がれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。

荷 資

水性ミラクシーラーエコ 15kg石油缶(標準塗坪100~150m²/缶)
(クリアー・ホワイト)

ベースプロテクト 20kg石油缶(標準塗坪20~28m²/缶)

(上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。)

危険情報と安全対策

製品の取り扱い、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
特に★印のついている製品は溶剤系の製品であるため、下記の点にご注意ください。

- 引火性の液体のため、火気厳禁です。
- 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防汚マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
- 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないよう十分に注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

用 途

住宅の基礎巾木(コンクリート、セメントモルタル)

※絶えず結露するなど、湿潤環境にある基礎部分には塗装しないでください。

標準色



BP-070 (N-70)

BP-075 (N-75)

BP-080 (N-80)

(色目は印刷のため実物とは多少異なります。なお、()は日本塗料工業会発行の塗料用標準色の近似の色番号を表しています。)

施工上の注意事項

- 水性ミラクシーラーエコは、他の水性塗料が混ざるとゲル化することがあります。他の材料との混合や、刷毛、ローラー、エアレスなどの塗装器具の共用は避けるとともに、同じ洗い水での塗装器具の洗浄は行わないでください。
- マシチックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマシチックローラー細目を使用する際はご注意ください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改装工事に溶剤系の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かびや藻が付着している場合は、SKKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ねる場合は、塗り重ねる前に表面の水分を除去してください。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗料が必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
- 補修塗料の際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり肌を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、ローラー塗りや仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- 陶磁器・タイル・洗浄用の酸が塗面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行なってください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、周囲気温、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 土壌に接触するような立ち上がり部位では、直接土壌に接触しないように施工してください。また、下地の汚れやほこり、ごみなどは、ブラシ等により十分に洗浄し、下地の乾燥を十分に行ってから塗装してください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



エスケー化研株式会社

本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391

仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400

名古屋支店 052-561-7712

京都支店 075-646-3967

大阪支店 072-621-7721

神戸支店 078-671-0451

広島支店 082-943-5043

福岡支店 092-629-3427

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットの内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

(製作年月: 2017年10月) (171010.M-4)

URL <http://www.sk-kaken.co.jp>